

62 交通安全推進【補正予算】

第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

安全で快適で、人にやさしいみちづくりを進める。

事業概要	内容	令和5年4月1日に施行された改正道路交通法により、自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となりました。 区民の安全確保の観点からヘルメット着用を推進するため、令和5年度からヘルメット1個あたり2,000円の購入費補助を行います。				
事業費	予算現額	決算額		執行率		
	9,120,000円	3,401,567円		37.3%		
事業実績	○令和5年度実績 令和5年11月1日から自転車用ヘルメット購入費補助事業を開始しました。 (1) 補助個数 648個 (2) 周知方法 広報千代田や区ホームページ、SNSの活用はもとより、福祉まつりや区民体育大会でのPR活動、区内広報掲示板へのポスター掲示等、区民に広く周知しました。 ※自転車用ヘルメット購入費補助事業の実績が想定より少なかったため、執行率が低くなりました。					
実績を踏まえた評価・課題 令和6年度 令和7年度予算への対応	区民の安全確保の観点から、自転車乗車時のヘルメット着用をより一層推進していく必要があります。 令和6年度は、自転車用ヘルメット購入費補助事業を継続するとともに、事業周知の方法や啓発活動について見直しを図ります。 令和7年度は、引き続き区民の交通安全意識の向上に努めます。					
所管課	環境まちづくり部	環境まちづくり総務課 道路公園課	決算参考書	218頁	R5予算の概要	-

63 環境保全意識周知【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

「2050ゼロカーボンちよだ」をめざし、業務中枢エリアにおけるカーボンニュートラルの早期実現を図る。また、地方連携によるカーボンニュートラルを促進し、区内事業者・家庭のゼロカーボンに向けた支援を加速する。
（関連する主な分野別計画：千代田区地球温暖化対策地域推進計画2021）

事業概要	内容	区は、環境教育の充実、環境月間の啓発、環境絵画の募集・展示等を通して、区民や事業者に対し、温暖化対策など環境保全に関する普及啓発活動を行っています。 令和5年度は、「2050年脱炭素社会実現に向けた連携協定」自治体のひとつである岐阜県高山市において、区民等向けの林業体験などを含むツアーを企画する旅行会社へ費用の一部を補助します。これにより、区民等が比較的安価に体験ツアーに参加することを可能にし、環境保全に関する意識啓発を進めます。		
事業費	予算現額	決算額		執行率
	7,256,000円	5,195,983円		71.6%
事業実績	○令和5年度実績 (1) 環境学習の促進 ①「ちよだ・つま恋の森づくり」植樹ツアー 日 程：令和5年5月27日・28日（1泊2日） 内 容：孺恋村バラギ湖周辺での自然散策、棧敷山での植樹 参加者数：区内在住者24名（小学生11名、大人13名） ②高山市森林体験等ツアー 区が示す要件を満たすツアーを企画・実施する旅行業者1社に対して参加者1人あたり25,000円の補助金を交付 日 程：令和5年7月22日～24日（2泊3日） 内 容：高山市五色ヶ原の森での自然散策、ちよだ・たかやまの森での林業体験、木工体験、農業体験など 参加者数：区内在住者27名（幼児1名、小学生9名、高校生2名、大人15名） (2) ちよだ環境まつりの開催 日 程：令和5年6月17日 会 場：区民ホール、会議室 内 容：環境関連ブースの出展、小学生向けワークショップの開催 来場者数：597名			
実績を踏まえた評価・課題 令和6年度予算への対応	事業の実績や区民等の需要を踏まえ、効果的な啓発事業を着実に進めていく必要があります。 令和6年度は、従前の森林体験等に加え、海洋環境の維持・保全に対する意識を高めるため、新たに海洋体験や学習イベントを実施します。 令和7年度は、令和6年度に引き続き、区民等へのさらなる意識啓発につながる取組みを推進します。			
所管課 環境まちづくり部 環境政策課		決算参考書	218頁	R5予算の概要 76頁

64 ヒートアイランド対策・暑熱対策の推進【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

「2050ゼロカーボンちよだ」をめざし、業務中枢エリアにおけるカーボンニュートラルの早期実現を図る。また、地方連携によるカーボンニュートラルを促進し、区内事業者・家庭のゼロカーボンに向けた支援を加速する。
（関連する主な分野別計画：千代田区地球温暖化対策地域推進計画2021）

事業概要	内容	区は、ヒートアイランド現象を緩和するため、新築の建物に対する緑化指導による緑化の推進やクールスポットの創出などに取り組んでいるほか、区民や事業者への助成や普及啓発を実施しています。 令和5年度は、ヒートアイランド対策計画の改定に向けて取り組むほか、暑熱環境に配慮が必要な子どもの施設へ、日除け設備を追加で設置し、子どもたちの熱中症予防や屋外活動の機会確保を図ります。		
事業費	予算現額	決算額	執行率	
	73,204,000円	67,665,208円	92.4%	
事業実績	○令和5年度実績 (1) 緑化指導 ①緑化受理件数：34件 ②緑地創出面積：11,230㎡ (2) 夏季期間中のドライ型ミスト設置 ①設置箇所：区内公園5か所、緑道1か所 ②設置期間：令和5年7月1日～9月30日 (3) 日除け設備：区立保育園3か所、こども園1か所に設置（令和5年7月～10月） (4) ヒートアイランド対策助成 ①敷地内緑化（固定基盤）：1件 ②高反射率塗料：7件 ③日射調整フィルム：3件 (5) 打ち水 ①打ち水の実施：令和5年8月1日～31日区内各所 519件 ②打ち水用品等の貸出：令和5年7月1日～9月29日 13件 (6) 緑のカーテン事業 区民や区内事業者にゴーヤの苗等及び肥料を460セット配布 (7) 「千代田区ヒートアイランド対策計画」の改定 学識経験者等で構成するヒートアイランド対策計画見直し検討部会の開催（2回）やパブリックコメントの実施を経て、令和6年3月に千代田区ヒートアイランド対策計画を改定しました。			
令和6年度実績を踏まえた評価・課題 令和7年度予算への対応	ヒートアイランド現象や気候変動による暑熱への対策のため、新築の建物に対する緑化指導による緑化やクールスポットの創出などをさらに推進していく必要があります。 令和6年度は、緑化指導を行った民間施設の新築等の際などに、レインガーデン※の設置に対する補助を実施します。 令和7年度は、令和6年度の実績を踏まえながら、さらなるヒートアイランド対策・暑熱対策の推進を図ります。 ※レインガーデン：雨水を一時的に貯めて時間をかけて地中へ浸透させる構造を持った植栽空間			
所管課 環境まちづくり部 環境政策課		決算参考書	218頁	R5予算の概要 76頁

65 地球温暖化対策の推進【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

「2050ゼロカーボンちよだ」をめざし、業務中枢エリアにおけるカーボンニュートラルの早期実現を図る。また、地方連携によるカーボンニュートラルを促進し、区内事業者・家庭のゼロカーボンに向けた支援を加速する。
（関連する主な分野別計画：千代田区地球温暖化対策地域推進計画2021）

事業概要	内容	区は、令和3年11月に「千代田区気候非常事態宣言」を表明し、2050年までに区内の二酸化炭素排出量実質ゼロをめざす「2050ゼロカーボンちよだ」の実現を掲げました。 その実現に向けて、「千代田区地球温暖化対策地域推進計画2021」に基づき、令和5年度は多角的に取組みを実施します。	
------	----	---	--

事業費	予算現額	決算額	執行率
	72,508,000円	49,147,469円	67.8%

事業実績

○令和5年度実績

(1) 再生可能エネルギー電力への切替促進

①家庭（助成金2万円を支給）：10件

②事業者（認証書の支給等）：1件

(2) EVインフラ等普及に向けた調査・検討

クリーンエネルギー自動車充電設備等の利用環境を整備するため、事例や整備・運営方法の調査・検討を行いました。

(3) 地方連携による産地指定の再生可能エネルギー供給・新規施設整備等の検討

①再生可能エネルギー供給：2契約（供給量38,666kWh・二酸化炭素吸収量16.9t）

②非化石証書※購入：1契約（供給量127,900kWh・二酸化炭素吸収量56.0t）

③新規施設整備等を含めた供給手法の検討を実施

※非化石証書：再生可能エネルギーなど非化石電源の環境価値を証書にしたもの

(4) 地方連携による森林整備事業

事業名	整備地	面積	二酸化炭素吸収量
連携自治体との森林整備事業	岐阜県高山市	16.81 ha	未確定
	群馬県嬬恋村	0.20 ha	0.60 t
	秋田県五城目町	4.95 ha	3.40 t
「多摩の森」活性化プロジェクト	都内多摩地区	4.815 ha	未確定

令和7年度予算への対応	実績を踏まえた評価・課題	「千代田区地球温暖化対策地域推進計画2021」に掲げる目標を達成するため、より実効性のある取組みを推進する必要があります。 令和6年度は、区内中小企業が自社の温室効果ガスの排出量を削減するための取組みを支援します。また、地方林業活性化に向けた支援を検討するため、区内における木材利用に係るニーズ調査等を実施します。 令和7年度は、引き続き計画に基づいた取組みを実施し、「2050ゼロカーボンちよだ」の実現に向け、地球温暖化対策のより一層の推進を図ります。
-------------	--------------	---

所管課	環境まちづくり部 環境政策課 （ゼロカーボン推進担当課長）	決算参考書	220頁	R5予算の概要	77頁
-----	----------------------------------	-------	------	---------	-----

66 建築物の省エネ推進【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

「2050ゼロカーボンちよだ」をめざし、業務中枢エリアにおけるカーボンニュートラルの早期実現を図る。また、地方連携によるカーボンニュートラルを促進し、区内事業者・家庭のゼロカーボンに向けた支援を加速する。

（関連する主な分野別計画：千代田区地球温暖化対策地域推進計画2021）

事業概要	内容 新築建物については、建築物環境計画書制度に基づく事前協議により環境に配慮した建物の省エネ化を推進しています。また、既存建物については、省エネルギー改修等を行う区内事業者等への助成制度の普及・啓発を行い、事業所ビル等の建物の低炭素化に取り組んでいます。 令和5年度は、原油価格・物価高騰の影響を受けている区民・事業者等に対する支援及び電力需給のひっ迫が見込まれる中での節電への取組みを一層促進するため、二酸化炭素排出量の削減効果が高いLED照明への改修費用の補助率を30%から50%に拡充するとともに、補助限度額を引き上げます。																																
事業費	予算現額		決算額		執行率																												
	198,280,000円		174,444,200円		88.0%																												
事業実績	○令和5年度実績																																
	(1) グリーンストック作戦																																
	①中小事業所ビル等省エネルギー診断件数：76件																																
	②区内の事業所を中心に、省エネ情報等の電子メール配信を実施																																
	(2) 建築物環境計画書制度																																
	届出件数：54件																																
	(3) 省エネルギー改修等助成制度																																
	<table><tr><th rowspan="2">助成項目</th><th colspan="2">令和5年度</th><th colspan="2">令和4年度</th></tr><tr><th>件数</th><th>助成額</th><th>件数</th><th>助成額</th></tr><tr><td>LED照明</td><td>117件</td><td>98,190千円</td><td>85件</td><td>44,493千円</td></tr><tr><td>人感センサー照明システム</td><td>4件</td><td>1,249千円</td><td>8件</td><td>273千円</td></tr><tr><td>窓断熱対策</td><td>20件</td><td>2,854千円</td><td>11件</td><td>1,660千円</td></tr><tr><td>その他</td><td>40件</td><td>18,864千円</td><td>50件</td><td>8,666千円</td></tr></table>					助成項目	令和5年度		令和4年度		件数	助成額	件数	助成額	LED照明	117件	98,190千円	85件	44,493千円	人感センサー照明システム	4件	1,249千円	8件	273千円	窓断熱対策	20件	2,854千円	11件	1,660千円	その他	40件	18,864千円	50件
助成項目	令和5年度		令和4年度																														
	件数	助成額	件数	助成額																													
LED照明	117件	98,190千円	85件	44,493千円																													
人感センサー照明システム	4件	1,249千円	8件	273千円																													
窓断熱対策	20件	2,854千円	11件	1,660千円																													
その他	40件	18,864千円	50件	8,666千円																													
実績を踏まえた評価・課題 令和7年度予算への対応	(4) 低炭素建築物助成制度																																
	助成件数：4件																																
所管課	新築建築物については、環境に配慮した建物の省エネ化を推進し、既存建築物については、区内事業者等へ助成制度の普及・啓発を行い、建物の低炭素化に取り組む必要があります。																																
	令和6年度は、低炭素建築物助成制度において区内中小企業者を対象に、二酸化炭素削減量1tあたりの助成額を25万円から50万円に拡充するとともに、助成限度額を1,000万円から2,000万円に引き上げます。																																
令和7年度は、引き続き千代田区地球温暖化対策地域推進計画2021に基づいた取組みを実施し、建築物の省エネ化のより一層の推進を図ります。																																	
環境まちづくり部 環境政策課 (ゼロカーボン推進担当課長)		決算参考書	220頁	R5予算の概要	78頁																												

67 生物多様性の推進【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

緑と水辺がつながり良質な空間を創出するとともに、身近な公園・児童遊園・広場等の整備と維持管理・活用により都心生活の質を豊かにしていく。
（関連する主な分野別計画：ちよだ生物多様性推進プラン）

事業概要	内容 区は、自然と共生した都心のまちをめざして、区内の生物多様性の保全に努めるとともに、区民等が生物多様性を意識して主体的に行動できる仕組みづくりに取り組んでいます。 令和5年度は、ちよだ生物多様性推進プランの見直しに向けて取り組むほか、スマートフォンアプリを活用した区民参加型の生き物調査を実施し、生物多様性に関する意識向上を図ります。		
事業費	予算現額	決算額	執行率
	10,481,000円	8,029,640円	76.6%
事業実績	○令和5年度実績		
	(1) ちよだ生物多様性推進プランの見直し 令和3年度から令和5年度にかけて、千代田区生物多様性推進会議で、短期目標の達成状況を検討するとともに、パブリックコメント（意見者数：5名、意見：11件）を実施したうえで、令和6年3月に「ちよだ生物多様性推進プラン」を改定しました。		
	(2) 区民参加型モニタリング調査（千代田区生きものさがし） 千代田区に住み・働き・学ぶ人に区内で見つけた生きものの情報を報告してもらいました。令和5年度から新たにスマートフォンアプリ「Biome（バイオーム）」による報告もできるようにしました。		
	期間	件数	参加者
	令和5年4月20日～5月31日	4,733件	412名
令和5年7月24日～8月31日	2,178件	472名	
	(3) 自然観察会 小学生とその保護者を対象とした観察会を開催することで生物について関心を持つきっかけづくりをしました。		
	実施日	内容	参加者
	令和5年7月28日	セミ羽化観察会	110名
	令和5年8月9日		
	令和5年11月4日	秋のどんぐり観察と生きもの楽習会	40名
令和7年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	生物多様性推進プランの改定内容を踏まえて、区全域で行動計画を実践していく必要があります。 令和6年度は、行動計画における区が担う役割について具体的な事業計画方針を決定し、実践するとともに、より多くの区民が生物多様性の推進活動に参加できるよう、引き続きアプリを活用した区民参加型モニタリング調査の実施、自然観察会の参加枠の拡充や動画の作成を行います。 令和7年度は、令和6年度に引き続き事業計画を実践し、さらなる生物多様性の推進を図ります。		

所管課 環境まちづくり部 環境政策課	決算参考書	220頁	R5予算の概要	78頁
--------------------	-------	------	---------	-----

68 公共空間活用検討会【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

基本構想の実現に向けて

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

まちに関わる多様な主体が相互につながりを強めて、地域の共通認識を築き、地域一体となったまちづくりを図る。

事業概要	内容	令和3年5月に改定した「都市計画マスタープラン」で描いた将来像の実現のためには、まちに関わる多様な主体が、それぞれの力を活かして創意工夫を重ね、文化資源をまちの魅力につなげたり、地域のつながりを強めたりするなど、具体的なまちづくりを展開することが重要です。 令和5年度は、まちづくりの合意形成のあり方及びまちづくりプラットフォームについて検討するとともに、まちづくりプラットフォームの実行性等を検証するため、実証実験を行います。あわせて、検討会での議論を踏まえて、区が所有するまちづくりに関する様々なデータ等を集約・整理し、誰でもまちづくりに関する情報をスムーズに入手できる仕組みを構築します。		
事業費	予算現額	決算額		執行率
	12,280,000円	12,173,000円		99.1%
事業実績	○令和5年度実績 (1) まちづくりプラットフォーム※のあり方検討会等の開催 ①まちづくりプラットフォームのあり方検討会の開催（3回） 区、有識者、地域関係者、区民などで構成される「まちづくりプラットフォームのあり方検討会」を開催しました。 ②まちづくりプラットフォームのあり方研究会の開催（5回） 検討会の有識者委員等で構成された「まちづくりプラットフォームのあり方研究会」を開催しました。 ③まちづくりプラットフォームのあり方庁内検討会の開催（3回） ※まちづくりプラットフォーム：まちづくり協議会等の形式及び活動の支援を行う組織 (2) 実証実験の実施 まちづくりプラットフォームの組織について実行性や体制等を検証するため、令和5年10月から令和6年3月まで神保町で実証実験を行いました。 (3) まちづくりに関するデータベースの整理 まちづくりの合意形成の基礎となるまちづくりの情報や区の人流等に関する情報を整理しました。			
実績を踏まえた評価・課題 令和6年度予算への対応 令和7年度予算への対応	まちづくりの合意形成を円滑に進めるにあたっては、支援組織による具体的な支援の内容や組織体制等を整理する必要があります。また、誰でも必要な時に必要な情報をスムーズに入手できるようにするため、まちづくりのデータベースを活用していくことが重要です。 令和6年度は、「まちづくりプラットフォームのあり方素案」に基づき、まちづくりプラットフォームの組織づくりについて検討を行います。また、まちづくりに関する情報の発信方法について、関係部署との調整を進めていきます。 令和7年度は、令和6年度の検討に基づき、まちづくりプラットフォームの立ち上げ等について準備を進めます。			
所管課 環境まちづくり部 景観・都市計画課		決算参考書	220頁	R5予算の概要 85頁

69 ウォーカブルなまちづくりの検討【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

千代田区都市計画マスタープランに掲げる将来像「つながる都心」の実現に向け、「人中心」の量から質に転換したまちづくりを推進し、都心生活の質（QOL：Quality Of Life）を豊かにしていくとともに、エリアマネジメント活動の普及・推進、まちづくりルールの見直し、都市基盤の整備などにより、持続可能なまちづくりに取り組む。
（関連する主な分野別計画：千代田区都市計画マスタープラン／千代田区ウォーカブルまちづくりデザイン）

事業概要	内容	令和4年6月に「千代田区ウォーカブルまちづくりデザイン」を策定し、歩きやすく居心地の良い「ウォーカブルなまちづくり」を推進しています。		
		令和5年度は、道路などにおけるプレイスメイキング等の実証実験箇所を増やすとともに、公民連携によるウォーカブルなまちづくりの実現をめざし、都市再生整備計画の策定に取り組みます。また、屋上空間や公開空地等の地域資源の活用方法等について研究するほか、道路・交通体系のバリアフリー化やユニバーサルデザイン化に向けた調査・検討を行います。		

事業費	予算現額	決算額	執行率
	33,083,000円	28,964,000円	87.5%

事業実績	○令和5年度実績 (1) プレイスメイキング等の実証実験の実施		
	実施時期	活動名	活動場所
	令和5年9月23日	防災プレイストリート神田富山町2023（公募）	神田富山町
	令和5年11月10日、24日 12月8日、20日	Belinda Loungeとウォーカブルキッズマップを作る（公募）	東郷元帥記念公園、五番町児童遊園、外濠公園、千鳥ヶ淵公園
	令和5年11月3日	なんだかんだ2（公募）	神田ポートビル前及び隣接街区前の道路、神田税務署駐車場
	令和5年12月17日	屋外コミュニティ空間を活用したまちづくり 千代田区プレイスメイキング実証実験イベント公園でつながる（公募）	東郷元帥記念公園
	令和6年1月20日	ちよチャレ 道路で遊ぼう！（区主催）	神田ふれあい通り
	(2) 屋上空間や公開空地等の地域資源の活用方法等に関する研究 屋上空間や公開空地について、管理者や利用している団体へアンケート調査を行い、今後の活用方法について研究しました。		
	(3) 都市再生整備計画の策定 大手町・丸の内・有楽町地区において、都市再生整備計画を策定しました。		
	(4) 道路・交通体系のバリアフリー化等に向けた調査・検討 平成15年3月に策定した「交通バリアフリー基本構想」について、令和2年の法改正を踏まえた改定の検討に向けて、現構想の検証及び課題等を整理しました。		
令和7年度予算への対応	実績を踏まえた評価・課題 地域にあったQOLを向上させ、居たくなる、訪れたくなるまちとしていくには、「千代田区ウォーカブルまちづくりデザイン」を区民・事業者・行政が共有し、地域が主体となってウォーカブルなまちづくりに取り組んでいけるようにしていくことが必要です。 令和6年度は、引き続きプレイスメイキング等の実証実験を行うとともに、景観の魅力を向上させるため、橋のライトアップに向けた調査・検討を行います。 令和7年度は、3年間のプレイスメイキング等の実証実験を踏まえ、さらなるウォーカブルなまちづくりの推進に努めます。		

所管課	環境まちづくり部 道路公園課 景観・都市計画課 (ウォーカブル推進担当課長)	決算参考書	220頁	R5予算の概要	79頁
-----	--	-------	------	---------	-----

70 歩道のセミフラット化

第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

安全で快適で、人にやさしいまちづくりを進める。

（関連する主な分野別計画：千代田区交通バリアフリー基本構想／千代田区道路整備方針）

事業概要	内容	様々な道路整備事業（歩道設置・拡幅、バリアフリー化、無電柱化など）が既に完了している路線のうち、セミフラット化されていない歩道について、段差をなくし歩きやすい歩行空間の確保を推進するため、歩道のセミフラット化に取り組んでいます。 令和5年度は、「二七通り（九段南二丁目～三番町）」の調査・設計を開始するほか、駿河台道灌道（神田駿河台三丁目）のセミフラット工事に着手します。										
事業費	予算現額	決算額	執行率									
	140,000,000円	13,965,600円	10.0%									
事業実績	○令和5年度実績 2路線で調査、設計及び1路線で工事に取り組みました。 <table><tr><td></td><td>実施路線</td><td>内容</td></tr><tr><td>1</td><td>駿河台道灌道（神田駿河台一丁目～三丁目）</td><td>設計、工事</td></tr><tr><td>2</td><td>二七通り（九段南二丁目～三番町）</td><td>調査、設計</td></tr></table> ※駿河台道灌道については、地元町会と協議のうえで工事規模を縮小したことや工事請負者への前払金の支払いがなかったため、執行率が低くなりました。				実施路線	内容	1	駿河台道灌道（神田駿河台一丁目～三丁目）	設計、工事	2	二七通り（九段南二丁目～三番町）	調査、設計
	実施路線	内容										
1	駿河台道灌道（神田駿河台一丁目～三丁目）	設計、工事										
2	二七通り（九段南二丁目～三番町）	調査、設計										
令和7年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	歩道のセミフラット工事にあたっては、誰もが安全で安心して快適に利用できる歩行空間の創出に向けて、歩道の段差や起伏の解消をめざし、着実かつ安全に事業を進めていくことが重要です。 令和6年度は、駿河台道灌道の工事を引き続き行うほか、二七通りの設計を進めます。 令和7年度も、令和6年度に引き続き、歩道のセミフラット化に取り組めます。											

71 地区の計画等の検討

第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

千代田区都市計画マスタープランに掲げる将来像「つながる都心」の実現に向け、「人中心」の量から質に転換したまちづくりを推進し、都心生活の質（QOL：Quality Of Life）を豊かにしていくとともに、エリアマネジメント活動の普及・推進、まちづくりルールの見直し、都市基盤の整備などにより、持続可能なまちづくりに取り組む。
（関連する主な分野別計画：千代田区都市計画マスタープラン）

事業概要	内容 地域特性を踏まえた、きめ細やかなまちづくりのルールである地区計画制度の適用にあたっては、地域におけるまちの将来像の共有と合意形成が大切です。このため、区は、必要な調査の実施や整備構想等の作成、地域特性を踏まえた地区計画制度の適用に向けた検討や、地域との協議・調整を実施しています。 令和5年度は、再開発事業の事前・事後における評価制度の構築に向けて検討を進めるとともに、神保町地区等において新たな地区計画の策定や地区計画の変更に向けたまちづくりの動向に対応していきます。				
事業費	予算現額		決算額		執行率
	30,992,000円		18,514,400円		59.7%
事業実績	○令和5年度実績 (1) 地区計画制度の適用に向けた調査検討 ①六番町偶数番地地区 ②九段南一丁目地区 ③日本テレビ通り沿道 ④神保町地域 (2) 地域協議会等の実施・支援 ①九段南一丁目地区地区計画素案説明会：令和5年9月19日 ②日本テレビ通り沿道まちづくり協議会：令和5年10月13日 (3) 再開発事業事前・事後評価制度の検討 部内検討会及び庁内検討会を設置し、再開発事業事前・事後評価制度について検討しました（部内検討会1回、庁内検討会1回開催）。 (4) 地区計画の区分のGISデータ作成 都市計画情報マップで地区計画区域内の区分の情報を提供するため、40地区のうち、地区計画策定期が早い20地区分のGISデータを作成しました。 ※地区計画制度の適用に向けた調査検討に入る地区が想定より少なかったため、執行率が低くなりました。				
実績を踏まえた評価・課題 令和6年度の取組状況 令和7年度予算への対応	地域特性を踏まえたきめ細やかなまちづくりのルールである地区計画制度の適用にあたっては、地域におけるまちの将来像の共有と合意形成が大切です。 令和6年度は、引き続き神保町地区においてリノベーション等による地域の個性を生かしたまちづくりの検討及び再開発事業の事前・事後における評価制度の構築に向けた検討を進めます。さらに、地区計画の区分について、都市計画情報マップでの提供に向けて、残りの地区のGISデータを作成します。 令和7年度は、引き続き、まちづくりの機運や開発の動向を捉えながら、地域課題・ニーズに関する調査を行い整備構想等を作成するほか、地域特性を踏まえた地区計画制度の適用に向け、地域と協議・調整を行うとともに、事前・事後評価制度の運用に向けて検討を進めます。				
所管課	環境まちづくり部	景観・都市計画課 地域まちづくり課	決算参考書	222頁	R5予算の概要 80頁

72 秋葉原地域まちづくりの推進

第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

千代田区都市計画マスタープランに掲げる将来像「つながる都心」の実現に向け、「人中心」の量から質に転換したまちづくりを推進し、都心生活の質（QOL：Quality Of Life）を豊かにしていくとともに、エリアマネジメント活動の普及・推進、まちづくりルールの見直し、都市基盤の整備などにより、持続可能なまちづくりに取り組む。
（関連する主な分野別計画：千代田区都市計画マスタープラン）

事業概要	内容 秋葉原地域では、駅周辺の機能更新や川沿いにおける親水空間の整備、公共施設の機能更新などが課題となっており、外神田一丁目においては、令和元年12月に「外神田一丁目計画基本構想」を改定し、地区計画策定に向けた勉強会などを行ってきました。 また、神田佐久間町地区では、地域課題の解決に向け、地権者等によるまちづくりの検討が進められています。 令和5年度は、引き続き地区計画の検討や公共施設の機能更新に向けた調整を行っていきます。		
事業費	予算現額	決算額	執行率
	6,500,000円	2,583,000円	39.7%
事業実績	○令和5年度実績 (1) 神田佐久間町地区 地区計画変更に向けた調査検討を実施 (2) 外神田一丁目南部地区のまちづくり ①令和5年10月 外神田一丁目南部地区地区計画都市計画決定 ②令和6年3月 第一種市街地再開発事業都市計画決定 ※地区計画変更に向けた調査検討業務委託の契約差金が生じたことや予定していた説明会等が開催に至らなかったため、執行率が低くなりました。		
令和7年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	地域自らがまちづくりのルールを定め、その運用・活用を継続的に行っていくためには、多様な価値観を有する地域の人々による将来像の共有が不可欠です。 令和7年度は、令和6年度に引き続き、各地域内のまちづくり団体等の活動を支援し、まちの将来像の共有やその実現に向けたルールづくり、ルールを運用していく組織づくりを推進していくとともに、地区計画の検討や公共施設の機能更新に向けた調整・検討を行います。		

所管課 環境まちづくり部 地域まちづくり課 (神田地域まちづくり担当課長)	決算参考書	222頁 R5予算の概要	80頁
--	-------	--------------	-----

73 飯田橋・富士見地域まちづくりの推進

第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

千代田区都市計画マスタープランに掲げる将来像「つながる都心」の実現に向け、「人中心」の量から質に転換したまちづくりを推進し、都心生活の質（QOL：Quality Of Life）を豊かにしていくとともに、エリアマネジメント活動の普及・推進、まちづくりルールの見直し、都市基盤の整備などにより、持続可能なまちづくりに取り組む。
（関連する主な分野別計画：千代田区都市計画マスタープラン）

事業概要	内容 飯田橋・富士見地域では、地域のまちづくり協議会において「基本構想」を策定し、飯田橋駅及び駅周辺の環境整備に向けてまちづくりを推進しています。 令和5年度は、引き続きJR飯田橋駅の安全対策を推進するとともに、基本構想の具現化に向けて、飯田橋駅東口周辺で検討されている複数の開発計画の調整を行っていきます。				
事業費	予算現額	決算額	執行率		
	10,554,000円	2,930,004円	27.8%		
事業実績	○令和5年度実績 (1) 飯田橋3－9周辺地区再開発協議会 令和5年12月21日 (2) 飯田橋・富士見地域まちづくり協議会 令和6年3月22日 ※協議・検討の状況が進まず、予定していた協議会の実施回数に至らなかったため、執行率が低くなりました。				
実績を踏まえた評価・課題 令和6年度 令和7年度予算への対応	地域自らがまちづくりのルールを定め、その運用・活用を継続的に行っていくためには、多様な価値観を有する地域の人々による将来像の共有が不可欠です。 令和6年度は、飯田橋駅周辺の基盤整備に関する検討や飯田橋駅東口周辺で検討されている複数の開発計画の調整を行います。 令和7年度は、令和6年度に引き続き、基本構想の具現化に向けた地域のまちづくりを推進していきます。				
所管課	環境まちづくり部 地域まちづくり課 (麹町地域まちづくり担当課長)	決算参考書	222頁	R5予算の概要	81頁

74 神田駿河台地域まちづくりの推進

第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

千代田区都市計画マスタープランに掲げる将来像「つながる都心」の実現に向け、「人中心」の量から質に転換したまちづくりを推進し、都心生活の質（QOL：Quality Of Life）を豊かにしていくとともに、エリアマネジメント活動の普及・推進、まちづくりルールの見直し、都市基盤の整備などにより、持続可能なまちづくりに取り組む。
（関連する主な分野別計画：千代田区都市計画マスタープラン）

事業概要	内容 神田駿河台地域では、地域のまちづくり協議会において地域の課題解決に向けたまちづくりを進めており、大規模な開発事業に関しては計画の段階から議論し、地域の環境改善につながる整備を行ってきました。 令和5年度は、御茶ノ水駅聖橋口駅前広場の供用開始に向け整備を進めるとともに、茗溪通り（御茶ノ水駅前）のにぎわい形成に向け交通量調査等を行い、歩行者専用道路化に向けた検討を進めます。		
事業費	予算現額 256,054,000円	決算額 220,000,000円	執行率 85.9%
事業実績	○令和5年度実績 【JR御茶ノ水駅聖橋口駅前広場整備及びバリアフリー整備】 人工地盤の整備や乗降場の改修などの工事を行い、令和5年12月に聖橋口駅前広場の一部を供用開始しました。  ▲一部供用中の聖橋口駅前広場  ▲工事の様子(聖橋側)		
実績を踏まえた評価・課題 令和6年度予算への対応	地域自らがまちづくりのルールを定め、その運用・活用を継続的に行っていくためには、多様な価値観を有する地域の人々による将来像の共有が不可欠です。 令和6年度は、御茶ノ水駅聖橋口駅前広場の完成に向け整備を進めるとともに、御茶ノ水駅整備に伴い、どのような変化が見られたか把握するための交通量調査を実施します。 令和7年度は、令和6年度に引き続き、御茶ノ水駅聖橋口駅前広場の完成に向け整備を進めるとともに、茗溪通り（御茶ノ水駅前）のにぎわい形成に向けた検討を進めます。		
所管課	環境まちづくり部 地域まちづくり課 （神田地域まちづくり担当課長）	決算参考書 222頁	R5予算の概要 81頁

75 神田駅周辺地域まちづくりの推進

第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

千代田区都市計画マスタープランに掲げる将来像「つながる都心」の実現に向け、「人中心」の量から質に転換したまちづくりを推進し、都心生活の質（QOL：Quality Of Life）を豊かにしていくとともに、エリアマネジメント活動の普及・推進、まちづくりルールの見直し、都市基盤の整備などにより、持続可能なまちづくりに取り組む。
（関連する主な分野別計画：千代田区都市計画マスタープラン）

事業概要	内容 神田駅周辺地域では、神田駅周辺環境整備懇話会を設置し、商業・業務・住居の各機能が調和し、活気とにぎわいがあり、安全で安心して活動できるまちをめざすため、地域と協働しながらまちづくりを進めています。 また、神田警察通り沿道では、神田警察通り沿道整備推進協議会を設置し、地域の将来像を描き、その実現に向けた取組みを進めています。 令和5年度は、引き続き沿道だけでなく、その周辺を含めた地域の魅力を高め、道路空間や広場など公共的な空間のにぎわい形成を実現していくためのまちづくりの検討を行っていきます。
------	---

事業費	予算現額 9,318,000円	決算額 3,586,000円	執行率 38.5%
-----	-------------------------------	------------------------------	-------------------------

事業実績	○令和5年度実績 （1）神田警察通り周辺まちづくり検討部会 令和5年9月7日 （2）神田警察通り沿道整備推進協議会 令和5年12月19日 （3）神田警察通り周辺まちづくり方針策定 令和6年1月 ※予定していた都市計画の手続きに至らなかった地区があったため、執行率が低くなりました。
------	---

実績を踏まえた評価・課題 令和6年度予算への対応	地域自らがまちづくりのルールを定め、その運用・活用を継続的に行っていくためには、多様な価値観を有する地域の人々による将来像の共有が不可欠です。 令和6年度は、令和5年度に策定した神田警察通り周辺まちづくり方針の実現に向けた検討を行うとともに、周辺で検討されている開発計画の調整を行います。 令和7年度は、令和6年度に引き続き、沿道だけでなく、その周辺を含めた地域の魅力を高め、道路空間や広場など公共的な空間のにぎわい形成を実現していくためのまちづくりを推進していきます。
-------------------------------------	--

所管課 環境まちづくり部 地域まちづくり課 （神田地域まちづくり担当課長）	決算参考書 222頁	R5予算の概要 81頁
--	--------------------------	---------------------------

76 区の花さくらの再生【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

緑と水辺がつなぐ良質な空間を創出するとともに、身近な公園・児童遊園・広場等の整備と維持管理・活用により都心生活の質を豊かにしていく。
（関連する主な分野別計画：区の花さくら再生計画）

事業概要	内容	千鳥ヶ淵や外濠公園など名所のさくらが老朽化しているため、区は、平成15年度に「区の花さくら再生計画」を策定し、区民や関係者による「区の花さくら連絡会」での意見交換などを行いながら、さくらの維持・再生を推進しています。 一方、計画策定から19年が経過し、さくらの植栽本数や生育状態、生育環境に変化が見られていることから、令和5年度は、さくらの生育状態に応じた育成管理や更新管理、後継樹木の育成を進めるための手法等について調査・検討します。		
事業費	予算現額	決算額		執行率
	20,672,000円	15,398,490円		74.5%
事業実績	○令和5年度実績 (1) さくら樹勢調査（令和5年10月～令和6年1月） さくらの現況の生育状態を調査したところ、昨年度から大きな変化はありませんでしたが、一部衰退の傾向が見られました。 (2) 害虫防除剤の設置（令和6年2月） さくらに害虫防除剤を設置し、害虫の発生を抑制しました。 (3) 区の花さくら連絡会（令和6年3月11日） さくら再生事業等について意見交換を行いました。 (4) さくら更新の検討 千鳥ヶ淵公園、代官町通り、真田濠の3地域について、さくら更新計画をまとめました。			
実績を踏まえた評価・課題 令和6年度の取組状況 令和7年度予算への対応	さくらを次世代へ健全な姿で引き継いでいくため、さくらの再生・更新及び永続的な管理作業を進めていくことが重要です。 令和7年度は、令和6年度に引き続き、区の花さくら連絡会を開催するとともに、樹勢調査や害虫防除剤を設置するほか、さくら更新計画に基づき、植替え等に取り組みます。			

77 電線類地中化の推進

第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

安全で快適で、人にやさしいまちづくりを進める。

（関連する主な分野別計画：千代田区交通バリアフリー基本構想／千代田区道路整備方針）

事業概要	内容	区は、災害時の円滑な救援活動に資するとともに、歩行空間の確保や景観の向上に寄与するため、電線類の地中化に取り組んでいます。 令和5年度は、引き続き「多町大通り南周辺地区」、「二七通り東地区」の電線類地中化工事と「二七通り西地区」の設計に取り組めます。			
事業費	予算現額	決算額	執行率		
	873,372,000円	467,927,574円	53.6%		
事業実績	○令和5年度実績 4地区で電線類地中化の推進事業に取り組めました。				
		地区名	内容		
	1	多町大通り南周辺地区	引込管路工事		
	2	二七通り東地区	引込管路工事、道路整備工事		
	3	和泉公園周辺地区	道路整備工事(完了)		
	4	二七通り西地区	調査、設計		
	※多町大通り南周辺地区において、文化財への影響について東京都下水道局との協議に時間を要したこと及び二七通り東地区において、東郷公園への地上器設置が遅延したこと等により進捗が遅れたため、執行率が低くなりました（予算の一部を令和6年度に繰り越しました）。				
令和7年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	電線類地中化整備にあたっては、誰もが安全で安心して快適に利用できる道路空間の確保に向けて、環境や景観への配慮、地域の生活や事業活動を支える基盤であるという視点をもって着実かつ安全に事業を進めていくことが重要です。 令和6年度は、引き続き2地区（多町大通り南周辺地区、二七通り東地区）の工事と1地区（二七通り西地区）の設計に取り組めます。 令和7年度も、令和6年度に引き続き、電線類地中化の推進に取り組めます。				
所管課	環境まちづくり部 道路公園課 （基盤整備計画担当課長）	決算参考書	228頁	R5予算の概要	82頁

78 歩道の設置・拡幅整備

第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

安全で快適で、人にやさしいまちづくりを進める。

（関連する主な分野別計画：千代田区交通バリアフリー基本構想／千代田区道路整備方針）

事業概要	内容 区は、交通事故の防止を図るとともに、歩行者や車椅子利用者などが安心して歩道を利用できる歩行空間を確保するため、歩道の設置・拡幅整備に取り組んでいます。 令和5年度は、「五十通り」、「神田駅ガード下」、「清州橋通り（靖国通り以南）」の調査・設計に取り組むほか、引き続き明大通り（Ⅱ期）工事に取り組めます。				
事業費	予算現額	決算額	執行率		
	119,956,000円	103,569,800円	86.3%		
事業実績	○令和5年度実績 3路線の調査・設計等及び1路線で工事に取り組みました。				
		実施路線	内容		
	1	明大通りⅡ期	道路整備工事(完了)		
	2	五十通り	測量・調査		
	3	神田駅ガード下	設計		
	4	清洲橋通り(靖国通り以南)	調査、設計		
令和6年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	歩道の設置・拡幅整備にあたっては、誰もが安全で安心して快適に利用できる歩行空間の創出に向けて、環境や景観への配慮、地域の生活や事業活動を支える基盤であるという視点をもって、着実かつ安全に事業を進めていくことが重要です。 令和6年度は、引き続き「五十通り」、「清州橋通り（靖国通り以南）」2路線の調査・設計に取り組むとともに、「神田駅ガード下」、「清州橋通り（靖国通り以南）」の工事に着手します。 令和7年度も、令和6年度に引き続き、歩道の設置・拡幅整備に取り組めます。				
所管課	環境まちづくり部 道路公園課 （基盤整備計画担当課長）	決算参考書	228頁	R5予算の概要	82頁

79 橋梁の整備

第4次基本構想のめざすべき姿等

地域特性を踏まえた強靱な都市基盤や災害に備えた体制のもとで、安心して暮らすことができます。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

橋梁や道路などの都市インフラの計画的な整備・補修を進め、安全で安心な都市基盤を構築するとともに、建築物の耐震診断、耐震改修等を支援し、市街地の耐震化を促進する。
（関連する主な分野別計画：千代田区橋梁長寿命化修繕計画）

事業概要	内容	区が管理する橋梁は、大正から昭和初期までに架けられたものが多くあり、「千代田区橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、予防保全の観点から5年に1回点検のうえ、傷んだ箇所や、大きな地震に備えて壊れにくい丈夫な橋とするための耐震化、塗膜の有害物質を除去するための塗装塗替を行っています。 令和5年度は、「お茶の水橋」及び「後楽橋」に加え、新たに「雉子橋」の補修・補強工事に取り組むほか、「新川橋」の塗装塗替工事や「南堀留橋」など3橋の塗装塗替等に係る設計に取り組みます。
------	----	--

事業費	予算現額	決算額	執行率
	2,965,354,000円	2,783,500,865円	93.9%

事業実績

○令和5年度実績
(1) 工事

	実施箇所	主な内容
1	お茶の水橋補修・補強工事	橋台補修、橋面防水、車両用防護柵設置、親柱洗浄、排水施設設置、車道舗装、歩道舗装、遮熱性舗装
2	後楽橋補修・補強工事	塗装塗替、歩道床版取替、鋼桁取替・補修、橋台補修、親柱補修
3	雉子橋補修・補強工事	塗装剥離
4	新川橋塗装塗替等工事	塗装塗替

(2) 設計
三崎橋補修等設計、隼町無名橋塗装塗替等設計、南堀留橋塗装塗替等設計

実績を踏まえた評価・課題 令和6年度予算への対応	橋梁整備にあたっては、誰もが安全で安心して快適に利用できる道路空間の創出に向けて、環境や景観への配慮、地域の生活や事業活動を支える基盤であるという視点が重要です。また、交通管理者・河川管理者・鉄道事業者など多くの関係機関等と協議を重ね、調整していく必要があるため、計画的に進めていくことが求められます。 令和6年度は、お茶の水橋及び後楽橋の工事完了をめざすとともに、引き続き雉子橋及び新川橋の工事を進めるほか、南堀留橋の塗装塗替等工事に着手します。また、宝田橋の補修・塗装塗替設計、三崎橋の補修等修正設計を実施します。 令和7年度は、令和6年度に引き続き橋梁の整備に取り組むとともに、5年に一度の橋梁定期点検を実施します。
-----------------------------	--

所管課	環境まちづくり部 道路公園課 (基盤整備計画担当課長)	決算参考書	228頁	R5予算の概要	83頁
-----	--------------------------------	-------	------	---------	-----

80 自転車通行環境整備

第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

安全で快適で、人にやさしいまちづくりを進める。

（関連する主な分野別計画：千代田区自転車利用ガイドライン／千代田区道路整備方針）

事業概要	内容	近年、健康や環境、災害対策などへの意識の高まりにより、自転車を利用するニーズは高まっています。一方で、交通安全上の問題も増加していることから、区は、自転車の安全な走行環境の整備を進めています。 令和5年度は、神田警察通りにおいて、Ⅱ期区間の工事及びⅢ期区間以降の設計を実施します。		
事業費	予算現額	決算額	執行率	
	398,300,000円	13,946,187円	3.5%	
事業実績	○令和5年度実績 神田警察通りⅡ期工事については、工事が予定どおり進まなかったため、令和5年度中の工事完了には至りませんでした。			
	 ▲整備後（イメージ）			
令和7年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題 令和6年度の取組状況	自転車通行環境の整備にあたっては、誰もが安全で安心して快適に利用できる道路空間の創出に向けて、環境や景観への配慮、地域の生活や事業活動を支える基盤であるという視点が重要です。 令和6年度は、神田警察通りⅡ期工事を完了させるとともに、Ⅲ期以降の区間について、神田警察通り沿道整備推進協議会や地域などの意見を踏まえ、関係機関協議・設計を行います。 令和7年度は、引き続き神田警察通りⅢ期以降区間の整備に取り組みます。			
所管課	環境まちづくり部 道路公園課 （基盤整備計画担当課長）	決算参考書	228頁	R5予算の概要 83頁

81 公園・児童遊園の整備

第4次基本構想のめざすべき姿等

良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

緑と水辺がつなぐ良質な空間を創出するとともに、身近な公園・児童遊園・広場等の整備と維持管理・活用により都心生活の質を豊かにしていく。
（関連する主な分野別計画：千代田区公園・児童遊園等整備方針）

事業概要	内容	区は、平成19年に策定した「公園・児童遊園等整備方針」に基づき、公園及び児童遊園等が安全で快適に利用できるよう整備や維持管理を行っています。 令和5年度は、神保町愛全公園の改修工事を実施するほか、公園・児童遊園等整備方針の改定に向け、令和4年度に実施した区立公園・児童遊園等の実態調査結果の検証を行い、改定整備方針の素案を策定します。	
------	----	--	--

事業費	予算現額	決算額	執行率
	261,430,000円	133,566,100円	51.1%

事業実績	○令和5年度実績 （1）公園・児童遊園等整備方針の改定検討 学識経験者を中心とした検討会や令和4年度利用実態調査を補完するため、公園利用のない方への調査を実施し、整備方針骨子を作成しました。 ①検討会開催（4回） ②街頭インタビュー調査（令和5年6月18日、21日、24日、611名回答） ③Webアンケート調査（令和5年8月5日～9月30日、520名回答） （2）神保町愛全公園改修工事 令和5年9月に改修工事に着手しました。 （3）公園・児童遊園等リニューアル工事 外濠公園内に子どもの遊び場として、築山を整備しました。   ▲整備後（令和5年11月竣工） ※関係機関との協議・調整等に時間を要し、令和5年度中の完了に至らない工事があったため、執行率が低くなりました（予算の一部を令和6年度に繰り越しました）。		
------	---	--	--

令和7年度予算への対応	実績を踏まえた評価・課題	公園・児童遊園等整備方針の改定にあたっては、区民を中心とした利用者等における最新のニーズを把握するとともに、幅広く意見をくみ取りながら検討していく必要があります。 令和6年度は、神保町愛全公園の改修工事が完了するほか、引き続き公園・児童遊園等整備方針の改定に向けて取り組みます。また、公園内の花火利用の実施規模拡大やボール遊びの実施など、公園等の柔軟な運用に向けた取組みを実施します。 令和7年度は、改定した公園・児童遊園等整備方針を踏まえ、公園・児童遊園・広場の整備に取り組みます。	
-------------	--------------	--	--

所管課	環境まちづくり部 道路公園課 （基盤整備計画担当課長）	決算参考書	230頁	R5予算の概要	84頁
-----	--------------------------------	-------	------	---------	-----

82 東郷元帥記念公園の整備【補正予算】

第4次基本構想のめざすべき姿等

良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

緑と水辺がつながり良質な空間を創出するとともに、身近な公園・児童遊園・広場等の整備と維持管理・活用により都心生活の質を豊かにしていく。
（関連する主な分野別計画：千代田区公園・児童遊園等整備方針）

事業概要	内容	東郷元帥記念公園は、歴史的経緯を尊重しながら、より一層地域に愛される公園としてリニューアルするため、改修整備を進めており、令和3年度に下段部の工事を完了しました。 令和5年度は、引き続き上・中段部の工事を進め、令和6年度のリニューアルオープンをめざします。		
------	----	---	--	--

事業費	予算現額	決算額	執行率
	299,000,000円	180,710,000円	60.4%

事業実績	○令和5年度実績 （1）東郷元帥記念公園改修工事検討協議会 ①令和5年7月18日：工事状況の報告 ②令和6年3月28日：工事状況の報告及び仮設通路の設置について検討 （2）改修工事 上・中段部の土壌対策工事及び擁壁の工事を実施しました。 ※上・中段部の工事を進める中で、主に九段小学校との境にある土留めの沈下及び劣化が確認されたことによる擁壁設置工事の追加等に伴い、令和6年3月31日の完成予定を令和8年3月31日に延伸することとなりました。   ▲整備後イメージ（上・中段部）		
------	---	--	--

令和7年度予算への対応	実績を踏まえた評価・課題	工事の進捗を踏まえて、住民・関係者へ広く状況を周知し長期化する工事への理解を得ながら、速やかに工事を進める必要があります。 令和6年度以降も、令和5年度に引き続き、住民・関係者へ丁寧な周知を行いながら公園工事を進め、令和7年度に整備を完了する予定です。		
-------------	--------------	--	--	--

所管課 環境まちづくり部 道路公園課	決算参考書	230頁	R5予算の概要	84頁
--------------------	-------	------	---------	-----

83 錦華公園の整備【補正予算】

第4次基本構想のめざすべき姿等

良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

緑と水辺がつなぐ良質な空間を創出するとともに、身近な公園・児童遊園・広場等の整備と維持管理・活用により都心生活の質を豊かにしていく。
（関連する主な分野別計画：千代田区公園・児童遊園等整備方針）

事業概要	内容	錦華公園は、隣接するお茶の水小学校・幼稚園の建替えと連携しつつ、より地域に愛される公園としてリニューアルするため、これまで地域住民や学校関係者等の意見を伺いながら整備内容をまとめてきました。 令和5年度は、引き続き公園整備工事を進め、令和6年度のリニューアルオープンをめざします。	
------	----	--	--

事業費	予算現額	決算額	執行率
	472,000,000円	0円	0.0%

事業実績	○令和5年度実績 令和5年3月に工事着手し、整備工事を進めました。 ※掘削中にコンクリート塊などの地中障害物が発見され、その処理に時間を要したことにより、工期を延伸したため、工事完了には至りませんでした（予算を令和6年度に繰り越しました）。   ▲整備後（令和6年4月竣工）		
------	---	--	--

実績を踏まえた評価・課題 令和6年度予算への対応	本事業は、令和6年4月に工事が竣工したため、完了しました。 より一層地域に愛される公園となるよう、今後も適切な維持管理に努めていきます。		
-----------------------------	---	--	--

所管課 環境まちづくり部 道路公園課	決算参考書	230頁	R5予算の概要	84頁
--------------------	-------	------	---------	-----

84 一般廃棄物処理基本計画の改定【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

資源循環型社会・経済の実現に向けてごみの減量・資源リサイクルを推進する。
（関連する主な分野別計画：第4次千代田区一般廃棄物処理基本計画）

事業概要	内容	現行の「第4次千代田区一般廃棄物処理基本計画」は、「環境モデル都市千代田資源循環型社会の構築に向けて」を具現化するために、平成29年12月に策定されました。 この計画は平成29年度から令和7年度までの計画ですが、コロナ禍において、ごみ排出量の変化が著しく、中間年の見直しを見送ったことから、次期計画の策定期間を1年前倒して、令和7年度からの次期計画策定に向けた調査や検討に着手します。		
事業費	予算現額	決算額		執行率
	7,241,000円	4,801,500円		66.3%
事業実績	○令和5年度実績 一般廃棄物処理の基本的方針に関する調査審議機関である一般廃棄物減量等推進審議会に計画策定の基本方針について諮問し、計画の基本骨子となる考え方を整理しました。 (1) 第1回審議会（令和5年12月26日） 「千代田区における清掃・リサイクル事業のあり方」について諮問 (2) 第2回審議会（令和6年2月7日） 第4次千代田区一般廃棄物処理基本計画の進捗状況評価 (3) 第3回審議会（令和6年3月19日） 「ごみの発生抑制」について検討			
令和7年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	計画策定にあたっては、食品ロスや事業系ごみの削減、増加するインバウンドへの対応に係る施策の充実に留意する必要があります。 令和6年度は、一般廃棄物減量等推進審議会からの答申を受けて、計画策定を行います。 令和7年度以降は、令和6年度に策定する計画に基づき、一般廃棄物の減量に向けて取り組んでいきます。			

所管課 環境まちづくり部 千代田清掃事務所	決算参考書	230頁	R5予算の概要	78頁
-----------------------	-------	------	---------	-----

85 食品ロス削減推進計画の策定【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

資源循環型社会・経済の実現に向けてごみの減量・資源リサイクルを推進する。
（関連する主な分野別計画：第4次千代田区一般廃棄物処理基本計画）

事業概要	内容	食品ロスを削減していくためには、区、区民、関係団体・事業者等がそれぞれの立場において主体的に食品ロス削減に取り組み、社会全体として対応し、食品を無駄にしない意識の醸成とその定着を図っていくことが重要です。 令和5年度は、区、区民、関係団体・事業者等が連携をとりながら食品ロス削減の取組みを推進することを目的に、食品ロス削減推進計画を策定します。		
事業費	予算現額	決算額		執行率
	7,000,000円	5,291,000円		75.6%
事業実績	○令和5年度実績 区民・事業者の食品ロス排出量や意識・行動等を把握するための実態調査を実施し、庁内検討会や審議会等で課題整理を行い、パブリックコメントを経て、令和6年3月に計画を策定しました。 (1) 実態調査の実施 ①燃やすごみ組成調査（令和5年6月） ②区民アンケート（令和5年8月） ③事業所アンケート（令和5年8月～9月） ④大規模事業所アンケート（令和5年8月～9月） (2) 検討会議の開催 ①庁内検討会（令和5年11月、12月） ②一般廃棄物減量等推進審議会（令和5年12月、令和6年2月） ③みらいくる会議※（令和5年8月、令和6年2月） ④地球温暖化対策推進懇談会（令和5年7月、12月） ⑤有識者によるアドバイザリー会議（令和5年11月） ※みらいくる会議：一般廃棄物の減量及び処理に関する区民会議 (3) パブリックコメントの実施 令和6年2月5日～20日の期間で実施（意見者数：5名、意見：7件）			
令和7年度予算への対応	実績を踏まえた評価・課題 令和6年度の取組状況 令和7年度予算への対応	本事業は、計画が策定されたため、令和5年度で完了しました。 今後は、策定した計画に基づき、食品ロスの削減目標の達成に向けて、適切に進捗管理を行いながら、実効性ある施策に取り組みます。		